| 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 | 0年度「学校連宮協議会の設直・拡充に向けた調査研究事業」まどの【概要版】 |
|-------------------------------|--|
| 教育委員会名 | 熊本県高森町教育委員会 |
| 研究課題 | 義務教育学校における効果的な学校運営協議会の運営方法について |
| | ~高森町新教育プランを通じた新たな学校モデルの構築~ |
| 研究のねらい | 人口減少に伴う地域の活力の衰退、児童生徒数の減少、教育の質の維持向上等の |
| | 課題解決に向けて、本町では平成24年4月に「高森町新教育プラン」(平成27年4月 |
| | 改訂)を策定した。その重点施策は、「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教 |
| | 育・ふるさと教育」である。高森町では、新教育プランに基づき、平成26年度に町内の |
| | 中学校区に学校運営協議会を設置した。併せて、町内の小中学校に学校運営協議会 |
| | を設置し、行政、地域住民、学校が一体となった教育改革に取り組んできた。平成27 |
| | 年度からは、首長部局と連携した、「高森町新教育プラン推進協議会」を設置し、町行 |
| | 政との協働による教育施策の推進に取り組んでいる。また、平成29年4月1日には、 |
| | 熊本県下で、初めてとなる高森東学園義務教育学校を開校した。同時に、高森東学園 |
| | 学校運営協議会を設置し、義務教育学校におけるコミュニティ・スクールとして新たな |
| | 取組を行っている。 |
| | 本研究において、新しい学校種である義務教育学校を核とした地域コミュニティを形 |
| | 成することで、学校教育活動の充実や地域の活性化を図ることをねらいとする。 |
| 研究の概要 | 1 協議体「義務教育学校応援推進協議会」の設置 |
| | 本研究の実践にあたり、現在設置している「高森町新教育プラン推進協議会」 |
| | 並びに「高森東学園学校運営協議会」を母体とした「義務教育学校応援推進協議 |
| | 会」を設置した。本協議会は、有識者、町行政関係者、教育委員会事務局職員及 び町教育関係者や関係機関も加えた投議体 k 新しい党校議である美数教育党 |
| | び町教育関係者や関係機関を加えた協議体とし、新しい学校種である義務教育学 なちな した地域コミュニニ (の形成 b 美 変 教 |
| | │校を核とした地域コミュニティの形成と義務教育学校としての学校運営協議会の │ │効果的な運営方法の確立を目指すとともに、今後の高森町における小中一貫教育 |
| | 効果的な建善力法の確立を目指すとともに、「後の高森町における小中「負教育 の在り方について検討を進めてきた。 |
| | |
| | 2 ふるさと教育の推進 |
| | 義務教育学校としての効果的な学校運営を地域との協働を図るために、「義務教 |
| | 育学校応援推進協議会」において、ふるさと教育を柱とした学校運営協議会の効 |
| | 果的な在り方について検討を行った。高森東学園義務教育学校は、文部科学省教 |
| | 育課程特例校の指定を受け「高森ふるさと学」を創設している。高森ふるさと学 |
| | では、「高森に誇りをもち、自己の生き方を考え、表現する力の育成」を目的とし |
| | て、キャリア教育の視点で体系化した体験重視の地域学習を展開するとともに、 |
| | ICT を活用した思考力・表現力の育成やプログラミング的思考を高めるプログラ |
| | ミング教育等に取り組んできた。特に、地域人材の活用を通して、体験を重視し |
| | た学習活動を問題の解決や探求活動の過程に位置づけ、地域と協働した特色ある |
| | 教育活動を展開している。それらの教育活動に対し、「義務教育学校応援推進協議 |
| | 会」の議論を踏まえた、「高森東学園学校運営協議会」によるふるさと教育への支 |
| | 援や評価を行った。 |
| | |
| | 3 学校運営協議会を通じた地域活性化 |
| | 「高森東学園学校運営協議会」は、義務教育学校における学校運営協議会とし |
| | て新たにスタートした。これまでの地域性を活かしながら、新しい学校種におけ ス党技運営物議会として、地域の活性化に姿まる党技運営物議会の充口する日本 |
| | │る学校運営協議会として、地域の活性化に資する学校運営協議会の在り方を目指 │ │すとともに、地域を元気にできる学校づくりの推進に必要な学校運協議会の構成 │ |
| | 9 とともに、地域を元気にできる字校づくりの推進に必要な字校連協議会の構成 |
| | 女糸、硪禾切相宜、計画理用について快討を里ねた。 |

「義務教育学校応援推進協議会」での議論や有識者の意見を踏まえ、高森東学園義務教育学校の運動会や文化祭を地域挙げての行事と位置づけた。そのことにより、地域の方が学校に行きやすい環境をつくることができ、義務教育学校を核とした地域コミュニティの形成という本研究のねらいに迫ることができた。その結果、地域で子ども育てる気運が高まり、「高森東学園児童見守り事業」が地域の方々を中心にスタートした。

研究の成果

また、キャリア教育の視点から「高森ふるさと学」において起業体験活動を行い、文化祭(ひめゆり文化祭)での商品販売を目指し、仮想の会社を起業し商品開発を行い起業家精神、起業家的資質・能力を培うことができた。文化祭(ひめゆり文化祭)では、講師(青森中央学院大学:高橋教授)を招聘し、コミュニティ・スクールについての講話をお願いし、地域住民への普及啓発を行った。その中で、「高森東学園学校運営協議会」の取組の確かさや素晴らしさを、関係者はもとより地域住民も確認することができた。

本件

熊本県高森町教育委員会

問い合わせ先

学校教育係 0967-62-0227